

# PAPR( 電動ファン付呼吸用保護具 ) および感染対策用ロングガウン 装着・脱衣手順

※本ポスター使用の感染対策用ロングガウンは、令和3年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「遺体における新型コロナウイルスの感染性に関する評価研究」の一環として東京大学法医学教室と千葉大学法医学教室の指導のもと、エイブル山内株式会社がPAPR 装着時に適切な防護服として開発を行いました。

**装着手順** ポイント ● 各手順は、介助者チェックもしくは鏡で、露出がなく確実に装着できているかなどを確認しながら実施しましょう。

**事前準備**

1. ガウン吸込み防止措置として、PAPR 本体に0.2~0.3mm厚程度のプラスチックシート※を養生テープ等で固定する。  
※作業例: A4 クリアファイルを半分に切る。

**0**

プラスチックシートをPAPR本体の大きさに合わせてカット  
PAPR本体がガウンを吸い込まない位置に貼り付け  
使用時にPAPRの響音が鳴らないよう事前の無音テストをしてください。

**1**

**基本術衣**

1. アンダーウェア上下、靴下着衣。パンツ類は靴下の中に入れる。
2. 【任意】感染防止スポン着用。

**2**

**長靴・ニトリル手袋(インナー)**

1. 長靴を履く。感染防止スポンを着用している場合、裾は長靴の中に入れる。
2. ニトリル手袋(インナー)着用。

**3**

**【任意】ベースガウン**

1. 【任意】ベースガウン着用。腰ひもは脱衣時の汚染防止のため、左手側側面が結ぶ。ニトリル手袋(インナー)はガウン袖の中に入れる。

**4**

**キャップ**

1. キャップ着用。

**5**

**PAPR・【任意】ニトリル手袋(ミドル)**

1. PAPRの本体とフードを装着。※事前準備としてガウン吸い込み防止措置を忘れないように注意。
2. 【任意】ニトリル手袋(ミドル)着用。

**6**

**感染対策用ロングガウン**

1. 感染対策用ロングガウン着用。腰ひもは脱衣時の汚染防止のため右手側側面が結ぶ。

**7**

**フードカバー**

1. フードカバー装着。腰ひもは脱衣時の汚染防止のため左手側側面が結ぶ。

**8**

**プラスチックガウン・ニトリル手袋(アウター)**

1. プラスチックガウン着用。結び目は背面にする。フードカバーをずらさないよう注意深く履く。
2. ニトリル手袋(アウター)着用。プラスチックガウンの袖口を覆うようにする。

**9**

**アームカバー・軍手**

1. アームカバーを装着。
2. アームカバーの上から軍手を装着。

**10**

**装着完了・介助者チェック**

**装着完了。介助者チェックを実施。**

・正しく装着しているか、露出がないか、破損がないか  
介助者もしくは鏡を使用してチェックを行う。

## 事前確認ポイント

- 準備**
- ・着用前に水分補給とトイレを済ませましょう。
  - ・自分のサイズに合った防護具を選択し準備しましょう。
  - ・時計や指輪、携帯電話などは装着前に外しましょう。
- 着用**
- ・露出部分や破損がないか、鏡を見たり介助者に確認してもらいましょう。
- 脱衣**
- ・外側が汚染している可能性が高いので、汚染を拡げないように順番通りに脱ぎましょう。
  - ・脱衣の途中に、汗を拭いたり、顔や髪に付いた髪などを触ると汚染してしまいます。触らないようにしましょう。
  - ・ふらつきたり、転倒防止のために、椅子を使用しましょう。
- 廃棄**
- ・廃棄しやすい、そして、使いやすい場所に廃棄容器は準備します。
- 手指衛生**
- ・手洗いが終わるまで、他のところを触らないようにします。
  - ・手指消毒は、手袋など防護具着脱の都度行います。

## 使用装備

- 本ポスターで使用している個人用防護具は以下の通りです。
- ・基本術衣(アンダーウェア)
  - ・【任意】感染対策用スポン  
参考製品: マックスガード 2570(エイブル山内製)  
※本ポスターでは使用していません。
  - ・長靴  
参考製品: マックスガード長靴 7101(エイブル山内製)  
※本ポスターで使用している製品とは異なります。
  - ・ニトリル手袋※(インナー)
  - ・【任意】ベースガウン
  - ・キャップ
  - ・PAPR(電動ファン付呼吸用保護具)  
参考製品: パーサフロー TR-300+HKL(スリーエムジャパン製)
  - ・【任意】ニトリル手袋※(ミドル)
  - ・感染対策用ロングガウン  
参考製品: マックスガードロングガウン 2588(エイブル山内製)
  - ・フードカバー  
参考製品: マックスガードシールド付きフード 2591(エイブル山内製)
  - ・プラスチックガウン
  - ・ニトリル手袋※(アウター)
  - ・アームカバー
  - ・軍手  
※滅菌でなくともよい

**脱衣手順** ポイント ● 各手順は、なるべく介助者を伴い、汚染することなく脱衣できているかなどを確認してもらいながら実施しましょう。脱衣時は汚染されている部分に触れないように、汚染部分を内側(中表)に巻き込むように行います。

**5から続き**

**1**

**軍手**

1. ゆっくりと丁寧に軍手を外す。

**2**

**プラスチックガウン・アームカバー・ニトリル手袋(アウター)**

1. プラスチックガウンの両肩を掴んで注意深く引っ張り首筋を引きちぎる。
2. アームカバーを巻き込みながら、ゆっくりと汚染面が裏側になるように丸めるように脱く。
3. この時、ニトリル手袋(アウター)もプラスチックガウン袖と一緒に外す。
4. 腰ひもを引きちぎるように外す。

**3**

**フードカバー**

1. フードカバーの腰ひもを外し、汚染を拡げないように注意深く脱く。

**4**

**感染対策用ロングガウン**

1. 感染対策用ロングガウンの、腰ひもを外し、両肩を使って掴んで引っ張り、首後ろの面ファスナーを外す。  
汚染を拡げないように注意深く裏返ししながら脱く。

**5**

**長靴**

1. 長靴消毒後、椅子などに腰掛け長靴を脱く。
2. 【任意】感染対策用スポンは長靴と共に脱く。

**6**

介助者がいる場合

**PAPR・【任意】ニトリル手袋(ミドル)**

(介助者がいる場合) 1. 介助者に背面の電動ファンを落ちないよう支えてもらいながら腰ベルトを外す。  
2. 電動ファンを支えてもらいながらフードを外してもらう。  
(単独) 1. 片手で背面の電動ファンを落ちないよう支えながら腰ベルトを外す。  
2. 片手で電動ファンを支えながらフードを外す。  
3. 【任意】ニトリル手袋(ミドル)を外す。

**7**

介助者がいる場合

**【任意】ベースガウン**

1. (介助者がいる場合) 介助者に背面の紐を外してもらう。(単独) 自身で汚染部分が未汚染部位に触れないよう、背面の紐を外す。
2. 腰の紐を外す。
3. 肩を引っ張りながら、巻き込むように裏返ししながらベースガウンを脱衣する。

**8**

**ニトリル手袋(インナー)**

1. ゆっくりと丁寧にニトリル手袋(インナー)を外す。

**9**

**キャップ**

1. ゆっくりと丁寧にキャップを外す。

**10**

**脱衣完了**

脱衣完了。

● 本ポスターは、感染防護体制の一例として、PAPR 装着及び感染対策用ロングガウン(人工血液バリア性試験(JIS T 8060)及びウイルスバリア性試験(JIS T 8061)いずれもクラス6)における着衣・脱衣手順を示したものです。感染症対策は、作業環境及び作業手順なども重要ですので、各施設もしくは各自にとって適切なPPEも含めて検討し、本ポスターを参考にしてください。

協力: エイブル山内株式会社

